

# 一般質問

## 市政のいまを問う

この定例会では6月8日・10日の3日間で、19人が登壇し42項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

### 質問項目（発言順） ※：掲載した項目

- 中嶋 祥元 議員 ※1 (仮称)逢妻川河川敷運動広場整備事業について
- 黒川 智明 議員 ※1 刈谷市の環境施策について
- 渡邊 妙美 議員 ※1 子育て支援について
- 山本 シモ子 議員 ※2 諸物価高騰への生活応援施策について
- ※2 インボイス制度による事業者影響の見解について
- ※3 平和を堅持する市政運営について
- 揚 張 一 議員 ※1 保育園の待機児童について
- ※2 市内のごみ問題について
- 外 山 鉦一 議員 ※1 市道02-14号線全線開通に伴う課題について
- 鈴木 絹男 議員 ※1 水源浄水場について
- ※2 空き家対策について
- 伊藤 幸弘 議員 ※1 空き家の適正管理と発生抑制について
- ※2 公共施設のトイレ洋式化について
- 白土 美恵子 議員 ※1 水道管の漏水対策について
- ※2 健康施策について
- 牛田 清博 議員 ※1 物価高騰から市民の暮らしを守る市政について
- ※2 中高一貫校の検討について
- ※3 ジェンダー平等社会の実現について
- 鈴木 浩二 議員 ※1 雨水対策マスタープランについて
- ※2 認知症介護への取組について
- ※3 PTAについて
- 新海 真規 議員 ※2 「書かない窓口」について
- ※3 刈谷市駅前地区再開発事業について
- 稲垣 雅弘 議員 ※1 工都刈谷市の誇りと愛着もてるまちづくりについて
- 佐原 充恭 議員 ※1 交通安全の新たな方策について
- ※2 避難所の案内看板について
- ※3 モビリティを軸とした脱炭素化について

質問・答弁がホームページから御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



### 中嶋 祥元 議員

**魅力ある(仮称)逢妻川河川敷運動広場の整備を!!**  
—利用者も少しでも快適に利用できるよう検討をしていく—

**問** (仮称)逢妻川河川敷運動広場の整備内容は、予定の県の逢妻川洪水調節地の上部に整備する計画であり、サッカー場と多目的広場をそれぞれ1面と駐車場を整備する予定である。

**答** 令和4年度に工事完了予定の県の逢妻川洪水調節地の上部に整備する計画であり、サッカー場と多目的広場をそれぞれ1面と駐車場を整備する予定である。

**問** 河川敷の上部利用は、構造物の設置が困難と認識しているが、その基本的考え方は、

**答** 構造物を設置する場合、「河川占用許可」が必要である。許可基準では、トイレやベンチなどの工作物は、原則「可搬式又は転倒式の構造とすること」と規定されている。

**問** 多目的トイレ、熱中症対策のベンチ及びあずまの設置

**答** 刈谷市のゼロカーボンシティを推進する上での課題は、国連の気候変動に関する政府間パネルが4月に公表した第6次報告書では、温室効果ガス削減強化に一刻の猶予もないことが示された。地球環境の現状を市民が自分事と捉え、行政事業者などとともに、脱炭素の取組を進めていくことが重要であると考えます。

**問** 本市のCO<sub>2</sub>排出量を残り8年間で46%削減し、2050年までに実質ゼロとするための市の取組は、

**答** 今年度から2年かけて改定する刈谷市環境都市アクションプランに取組を示していく。

**問** 事業者との協定を締結したポトルとポトルの取組とは、

**答** 市内の家庭から出たペットボトルを市が回収し、ペットボトルとして再生して国内流通させる取組となっており、資源循環することで約500トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減できる効果が期待できる。

**問** 本市が出資する地域新電力会社は、クリーンセンターで発電した電力を公共施設に供給

**答** クリーンセンターで発電した電力を公共施設に供給し、脱炭素化を推進

### (主な答弁者)・教育部長

考えるがどう進めていくのか。

**答** 河川の流れを阻害する施設の設置は難しいと考えている。しかし、利用者が少しでも快適に使用いただけるようトイレの設置など、県と協議しながら検討をしていく。

**問** 亀城公園運動広場は水はけが悪く、凹凸が大きい。整備をどのように考えているのか。

**答** 整備後、年数が経過し、老朽化が進んでいるため、今後検討していきたいと考えている。

**問** (仮称)逢妻川河川敷運動広場の水はけはどうか。

**答** 透水管の埋設など、水はけや良好な状態を維持できる仕様を考えていく。

**問** 多目的トイレ、熱中症対策のベンチ及びあずまの設置

**答** 刈谷市のゼロカーボンシティを推進する上での課題は、国連の気候変動に関する政府間パネルが4月に公表した第6次報告書では、温室効果ガス削減強化に一刻の猶予もないことが示された。地球環境の現状を市民が自分事と捉え、行政事業者などとともに、脱炭素の取組を進めていくことが重要であると考えます。

**問** 今年度から2年かけて改定する刈谷市環境都市アクションプランに取組を示していく。

**問** 事業者との協定を締結したポトルとポトルの取組とは、

**答** 市内の家庭から出たペットボトルを市が回収し、ペットボトルとして再生して国内流通させる取組となっており、資源循環することで約500トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減できる効果が期待できる。

**問** 本市が出資する地域新電力会社は、クリーンセンターで発電した電力を公共施設に供給

**答** クリーンセンターで発電した電力を公共施設に供給し、脱炭素化を推進

**問** 本市が出資する地域新電力会社は、クリーンセンターで発電した電力を公共施設に供給

**答** クリーンセンターで発電した電力を公共施設に供給し、脱炭素化を推進

### (主な答弁者)・産環境部長

し、エネルギーの地産地消による脱炭素化を推進する予定だが、この事業を拡充する考えは、

**答** 将来的にはさらに地産地消を進めるため、太陽光発電の設置などにより、再生可能エネルギー量を確保し、エネルギー活用について検討していく。

**問** 多胎児を出産・育児する家庭は不安や心配事が多いか。

**答** 多胎児を養育する家庭に対し、申請により多胎児養育費を支援金を支給している。また、多胎児を養育する保護者に対し、希望により健診時にサポーターを派遣し、子供の面倒や荷物を運ぶなどの手伝いをしている。

**問** 令和3年度から始まった健診時サポーター派遣事業について、多胎家庭からどのような声があつているか。

**答** 健診サポーター利用時にアンケートを行っており「優し

### (主な答弁者)・企画財政部長

更新を完了する予定である。

**問** 災害時やコスト面を考慮し、施設を大きくすることも考えられるが、施設規模をどのようにしているか。

**答** 令和4年度に実施する基本設計において、今後の給水人口や水道水の利用状況などを考慮し、最適な規模になるよう検討していく。

**問** 令和4年度は、浄水処理方法や施設配置などの検討のための基本設計を実施し、5年度以降は、官民連携手法を取り入れたプロポーザルにより施工

**答** 令和4年度は、浄水処理方法や施設配置などの検討のための基本設計を実施し、5年度以降は、官民連携手法を取り入れたプロポーザルにより施工

**問** 令和4年度は、浄水処理方法や施設配置などの検討のための基本設計を実施し、5年度以降は、官民連携手法を取り入れたプロポーザルにより施工

# 一般質問

## 市政のいまを問う

この定例会では6月8日・10日の3日間で、19人が登壇し42項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

### 質問項目（発言順） ※：掲載した項目

- 中嶋 祥元 議員 ※1 (仮称)逢妻川河川敷運動広場整備事業について
- 黒川 智明 議員 ※1 刈谷市の環境施策について
- 渡邊 妙美 議員 ※1 子育て支援について
- 山本 シモ子 議員 ※2 諸物価高騰への生活応援施策について
- ※2 インボイス制度による事業者影響の見解について
- ※3 平和を堅持する市政運営について
- 揚 張 一 議員 ※1 保育園の待機児童について
- ※2 市内のごみ問題について
- 外 山 鉦一 議員 ※1 市道02-14号線全線開通に伴う課題について
- 鈴木 絹男 議員 ※1 水源浄水場について
- ※2 空き家対策について
- 伊藤 幸弘 議員 ※1 空き家の適正管理と発生抑制について
- ※2 公共施設のトイレ洋式化について
- 白土 美恵子 議員 ※1 水道管の漏水対策について
- ※2 健康施策について
- 牛田 清博 議員 ※1 物価高騰から市民の暮らしを守る市政について
- ※2 中高一貫校の検討について
- ※3 ジェンダー平等社会の実現について
- 鈴木 浩二 議員 ※1 雨水対策マスタープランについて
- ※2 認知症介護への取組について
- ※3 PTAについて
- 新海 真規 議員 ※2 「書かない窓口」について
- ※3 刈谷市駅前地区再開発事業について
- 稲垣 雅弘 議員 ※1 工都刈谷市の誇りと愛着もてるまちづくりについて
- 佐原 充恭 議員 ※1 交通安全の新たな方策について
- ※2 避難所の案内看板について
- ※3 モビリティを軸とした脱炭素化について

質問・答弁がホームページから御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



### 中嶋 祥元 議員

**魅力ある(仮称)逢妻川河川敷運動広場の整備を!!**  
—利用者も少しでも快適に利用できるよう検討をしていく—

**問** (仮称)逢妻川河川敷運動広場の整備内容は、予定の県の逢妻川洪水調節地の上部に整備する計画であり、サッカー場と多目的広場をそれぞれ1面と駐車場を整備する予定である。

**答** 令和4年度に工事完了予定の県の逢妻川洪水調節地の上部に整備する計画であり、サッカー場と多目的広場をそれぞれ1面と駐車場を整備する予定である。

**問** 河川敷の上部利用は、構造物の設置が困難と認識しているが、その基本的考え方は、

**答** 構造物を設置する場合、「河川占用許可」が必要である。許可基準では、トイレやベンチなどの工作物は、原則「可搬式又は転倒式の構造とすること」と規定されている。

**問** 多目的トイレ、熱中症対策のベンチ及びあずまの設置

**答** 刈谷市のゼロカーボンシティを推進する上での課題は、国連の気候変動に関する政府間パネルが4月に公表した第6次報告書では、温室効果ガス削減強化に一刻の猶予もないことが示された。地球環境の現状を市民が自分事と捉え、行政事業者などとともに、脱炭素の取組を進めていくことが重要であると考えます。

**問** 今年度から2年かけて改定する刈谷市環境都市アクションプランに取組を示していく。

**問** 事業者との協定を締結したポトルとポトルの取組とは、

**答** 市内の家庭から出たペットボトルを市が回収し、ペットボトルとして再生して国内流通させる取組となっており、資源循環することで約500トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減できる効果が期待できる。

**問** 本市のCO<sub>2</sub>排出量を残り8年間で46%削減し、2050年までに実質ゼロとするための市の取組は、

**答** 今年度から2年かけて改定する刈谷市環境都市アクションプランに取組を示していく。

**問** 事業者との協定を締結したポトルとポトルの取組とは、

**答** 市内の家庭から出たペットボトルを市が回収し、ペットボトルとして再生して国内流通させる取組となっており、資源循環することで約500トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減できる効果が期待できる。

**問** 令和3年6月議会において、補正予算を議決いただき、設計業務を進めているところである。令和4年度から排水路や用水路の付け替え工事を行った後に道路の築造工事に着手していく。基本的に農閑期での施工を予定しており、令和7年度末の完成を目指している。

**問** 全線開通により、交通環境や車の流れは想像以上に姿を変えることになる。道路の規制を含めた交通安全対策は、

**答** 新規の道路整備に対する安全対策は、警察との協議により必要な対策を行っている。地区からの意見は要望書を提出していただき、必要に応じて対応を検討していく。通学路等の安全対策は、毎年実施している通学路学区内危険箇所改善要望調査

**問** 今回の明治用水頭首工の大規模漏水で、改めて水の大切さを思い知らされた。水道施設は、快適な市民生活や産業面

**答** 重原幼稚園を廃止し、民間保育園を誘致したほか、公立

**問** 今回の明治用水頭首工の大規模漏水で、改めて水の大切さを思い知らされた。水道施設は、快適な市民生活や産業面

### (主な答弁者)・建設部長

歩車分離が図られるよう両側歩道設置などの対策を実施する

**問** 全線開通に向けた整備の進め方は、

**答** 令和3年6月議会において、補正予算を議決いただき、設計業務を進めているところである。令和4年度から排水路や用水路の付け替え工事を行った後に道路の築造工事に着手していく。基本的に農閑期での施工を予定しており、令和7年度末の完成を目指している。

**問** 全線開通により、交通環境や車の流れは想像以上に姿を変えることになる。道路の規制を含めた交通安全対策は、

**答** 新規の道路整備に対する安全対策は、警察との協議により必要な対策を行っている。地区からの意見は要望書を提出していただき、必要に応じて対応を検討していく。通学路等の安全対策は、毎年実施している通学路学区内危険箇所改善要望調査

**問** 今回の明治用水頭首工の大規模漏水で、改めて水の大切さを思い知らされた。水道施設は、快適な市民生活や産業面

**答** 重原幼稚園を廃止し、民間保育園を誘致したほか、公立

**問** 今回の明治用水頭首工の大規模漏水で、改めて水の大切さを思い知らされた。水道施設は、快適な市民生活や産業面

**答** 重原幼稚園を廃止し、民間保育園を誘致したほか、公立